

令和2年度 県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」実施報告書(1)

第1回「市民科学と森林管理」

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」 第1回「市民科学と森林管理」 講義：「生活防災の森づくり」東京情報大学総合情報学部 教授 原 慶太郎 講義：「台風15号の被害と倒木利用」ちば里山センター 理事 赤松 義雄 講義：「植生管理とモニタリング」かしわ環境ステーション 相澤 章仁 実習：「モニタリング入門」かしわ環境ステーション 相澤 章仁
日時	令和2年7月12日(日) 9:30~15:30
会場	ちば里山センター
出席者	受講生18名(11市1町)・講師3名、スタッフ3名
内容	9:30~10:50 講義：「生活防災の森づくり」 東京情報大学総合情報学部 教授 原 慶太郎 11:00~11:30 講義：「台風15号の被害と倒木利用」 ちば里山センター 理事 赤松 義雄 12:00~13:00 昼 食 13:00~14:20 講義：「植生管理とモニタリング」 かしわ環境ステーション 相澤 章仁 14:30~15:30 実習：「モニタリング入門」 かしわ環境ステーション 相澤 章仁
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回里山カレッジはちば里山センターと千葉県緑化センター構内樹林地で行われた。 ・午前中は東京情報大学総合情報学部教授原慶太郎氏による「生活防災の森づくり」について講義。2019年の台風被害の状況を振り返りながら、北総地域の里山に加え、東日本大震災の海岸林復興事業などを例に、里山の生活防災機能について指摘した。今後の里山と住民との関わりについて里山のもつサステナビリティの機能に加え、レジリエンス(回復性)の観点から防災・減災の役割が大きくなっていると説明。 ・台風や大雨といった自然災害があっても存続・適応、発展し、必要な時には新しい状態へ大きく転換することも必要と述べた。 ・続いて、ちば里山センター赤松義雄理事から「台風15号の被害と倒木利用」について、県内里山各団体から報告のあった被害の状況が写真で示された。さらに受講生の所属する団体から台風被害の状況について報告があった。千葉市園生の森公園では年末まで立ち入り禁止にして森内を整備、手賀沼森友会からは伐倒木の有効活用を考えているが、森から運搬する手間などが悩みだとのことだった。長南町「もりびと」からは、防災に役立つ食料調達が森でできないかということから、竹林から伐採した竹をもとにメンマ製造を試験的に行っていると報告があった。 ・午後の部はかしわ環境ステーション相澤章仁氏が「植生管理とモニタリング」について講義した。里山団体では樹林地・緑地の管理手法をめぐってメンバー間で考え方の相違が露わになること

が多い。解決の方法論として、緑地等の管理の計画、生物種を守る計画が整理されていることが肝要だが、方法論が確立している例は少ない。

- ・利根運河の生態系を守る会から堤防の植生の変化を知りたいと相談があり、モニタリングを工夫した。マップ上で50メートルごとのメッシュを切り、植物種の減少を調べた。評価を管理計画にどう結び付けるのか。これが大きな問題だと指摘した。

- ・その後、千葉県緑化センター樹林地で「モニタリング入門」の実習を行った。トベラ、ヤブガラシ、セイタカアワダチソウ、ドクダミの4種を、メッシュを切ったマップ上に落としていった。樹林地内で沢山あると思われていた種はマップ上の色分けにより、「日向を好む」「日影に多い」と種の持つ特徴が表れた。

- ・誰でもできる、同じ結果が期待できること、気長に長く続けられるモニタリングの方法も示された。

<本里山カレッジ開催にあたって 新型コロナウイルス感染防止対策について>

- ・本カレッジでは新型コロナウイルス感染防止対策として千葉県のガイドラインを使い、当センターの工夫を加えたガイドラインで実施した。

- ・講師、スタッフ、受講生のマスク着用、会議室内の密接空間を避け、3人掛けテーブルの1人掛け、テーブル、椅子のアルコール消毒、入り口での体温測定と手指アルコール消毒、トイレ使用後の手指アルコール消毒に努めた。

添付資料（写真）



原教授の講義



受講風景



赤松義雄理事による台風被害と倒木利用報告



園生の森江田代表の報告



手賀沼森友会齋藤さんの報告



「もりびと」千葉さんの報告



かしわ環境ステーション相澤章仁講師



絶滅危惧植物の減少要因



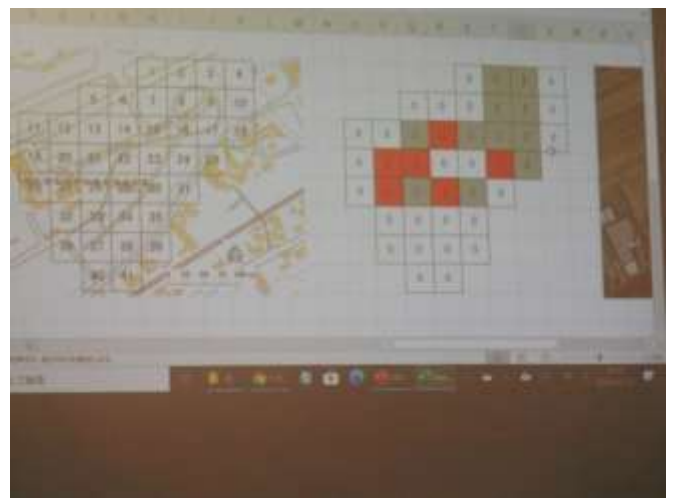
モニタリング駐車場調査中



モニタリング道路際調査中



モニタリング日陰調査中



調査の結果マップに色分けできた

新型コロナウイルス感染防止対策への対応



ソーシャルディスタンスを保った受付



手袋の使用



体温測定



消毒薬等の整備



マスクの着用